

# 平成27年度 一般会計総額77億

## ふるさと白馬を応援する基金 1億9776万円

### 決算

寄付金として、神城断層地震への見舞金に480万5933円、ふるさと白馬村を応援する寄付金に1億9776万1734円。

### 歳出

災害復旧費は15億5254万3041円、歳出全体の21.6%。神城断層地震に対応しての災害復旧費を重点に、前年度比395.3%の大幅な増額。主な内訳は、農地や農道・林道被害等の農林業施設災害復旧に3億6230万6089円、道路や橋梁等被害などの公共土木施設災害に11億3848万164円、公共施設や文化財、体育施設等の公共施設災害復旧に5175万6788円。

高齢者支え合いセンター建設などを含む民生費が10億8848万5987円で歳出全体の15.2%、白馬高校支援事業や、ふるさと納税寄付者への返礼などを含む総務費が9億8389万8023円で歳出全体の13.7%。

公債費は6億2482万9811円で、前年度比8.0%の増。

### 総務課

**問** 職員健康管理の状況と、相談会の効果については。

**答** 27年度で療養休暇等の職員は特になかったが、引き続き庁内の安全衛生委員会で、保健師等と協力してストレッチ等を実施していく。

**問** ケーブルテレビの加入者があまり増えていないが、原因の分析をおこなっているか。

**答** 自主放送の重要性をふまえて、指定管理者と番組等について調整し住民に周知をはかりたい。

**問** ふるさと納税による村への影響は。

**答** 返礼品自体は4割を目途にしていて、いたただいたふるさと納税だけを見ると赤字である。また、村外寄付については、それほど多くないと思われる、今のところ影響は少ないと考える。

### 税務課

**問** 不能欠損額が1億円を超える状況となった理由と欠損判断の基準、徴税方針については。

**答** 固定資産税では、過去の、いわゆる塩漬けとなっているものもあり、27年度に法令に基づいて処分したもの。税務課内では、執行停止や不能欠損の処分にかかる基本方針を作成しており、処分は一律の基準に基づいている。徴税の基本方針としては、初期の段階で滞納者を出さないというもので、現年度の徴収率98%を目標としている。

**問** 課税ミスを防ぐための課内体制は。

**答** 入力後、段階的に2度のチェックが入るように体制を整えている。

### 健康福祉課

**問** 要援護者システム台帳の効果と、台帳整備の方向性は。

**答** システムは要援護者を登録することで、医療と福

## ここが知りたい！

村債(借金)とふるさと納税の推移

